

かねざわ 第81号

2022年（令和4年）8月

- (P-2) 探訪のお知らせ「北条義時と13人の宿老」
(P-3) 新入会員との懇談会
(P-11) 名画座で人生を学んだ（“わ”の会会員 伊達一雄）

目次

運営委員会からのお知らせ

- 2 探訪のお知らせ「北条義時と13人の宿老」
探訪実行委員会
3 新入会員との懇談会
運営委員 斧原良一

学習会

- 6 第1回学習会
「室町・戦国時代の金沢・六浦」

会員からの寄稿

- 11 「名画座で人生を学んだ」
“わ”の会会員 伊達一雄

分科会からの便り

- 13 「寺社を巡る会」活動記録
16 「古文書を読む会」学習記録
18 「ふれあいの道歩こう会」実施概要 37
代表 柴崎 幸治
21 「懐かしの映画を観る会」鑑賞録 39
代表 鶴岡 重典
27 「浮雲俳句会」抄録 57 代表 太田 耕蔵
30 「パソコンを使いこなす会」実施報告(9)
36 行事予定（9月～11月）

【お願い】 会員の皆さまの寄稿をお待ちしています



金沢区生涯学習“わ”の会

ホームページ: <http://kanazawa-wanokai.in.coocan.jp/>
メー - jl:yokohama.kanazawa.wanokai@gmail.com

2022年度 探訪（第5回学習会）のお知らせ

『北条義時と13人の宿老－ 「執権義時と実朝の暗殺」ゆかりの地を歩く』

今年は、NHKの大河ドラマ「鎌倉殿の13人」が好評を博しており、鎌倉地区が例年以上に数多く紹介されております。

そこで、今年度の秋の探訪では、北条義時と源実朝のゆかりの地を探訪します。下記の要領で実施しますので、多数のご参加をお待ちします。

『実施要領』

1. 探訪地：鎌倉地区（NPO法人 鎌倉ガイド協会の案内）
2. 日時：10月14日（金）9時30分～12時30分 小雨決行
註1：班編成 10名～12名程度ごとに班編成します。
註2：荒天等で中止する場合は当日朝6時45分までに、
電話連絡するとともに“わ”の会ホームページに掲載します。
3. 集合時間：午前9時30分（厳守）受付開始9時00分
4. 集合場所：JR 鎌倉駅西口 時計台広場
5. 持ち物：名札（着用）、飲料、雨具
6. 探訪経路：鎌倉駅西口→鶴岡八幡宮（ 白旗神社・国宝館前庭）→
大倉幕府跡→義時法華堂跡→義時大倉亭推定地→
（ 鎌倉宮）→覚園寺→鎌倉宮（解散）
諸般の事情によりコースを変更する場合があります。
7. 申込み期限：9月27日（火） 9月10日の学習会でも受付けます。
8. 備考：大河ドラマ館見学希望者は、探訪終了後、同館まで案内します。

不明な点は 次の者にご問合せください

三浦 啓一 TEL 045-784-4144 [メールアドレス keiichi_0612@sun.cims.jp](mailto:keiichi_0612@sun.cims.jp)

田野実裕之 TEL 045-771-0020 [メールアドレス c-chopin@xd6.so-net.ne.jp](mailto:c-chopin@xd6.so-net.ne.jp)

2021・2022 年度 入会会員との懇談会

会報編集委員 斧原良一

開催日：2022 年 7 月 9 日（土） 10：00～12：00

会場：金沢公会堂 1 号会議室

出席者：2021 年度及び 2022 年度入会会員、分科会代表・副代表、運営委員会（主催）



【概要】

新入会員懇談会は、コロナ禍のため 3 年ぶりの開催となった。昨年度からの新入会員 18 名、分科会代表と運営委員を併せ 30 名が参加した。

江口代表による、懇談会の開催趣旨と“わ”の会の活動理念の説明後、運営委員、分科会、新入会員の順で簡単な自己紹介をし、打ち解けた雰囲気となった。分科会代表は、限られた時間の中で、会の楽しさやメリットをアピールしつつ、どこでもよいので分科会に参加することで人生が豊かになると入会を勧めていた。意見交換では数名の新人から貴重な意見が得られた。

懇談会の後、会場をカバズキッチンに移し懇親会を行い、久々ににぎやかに時間を過ごした。

【開催の背景】

“わ”の会は、長い間 120 名を超える会員数をほぼ維持してきた。しかしこの数年、定年延長や会員の高齢化など様々な原因で会員数が減少し、学習会への出席率も下がり、会の存続・活性化のため、新入会員を増やすことが重要課題になっていた。会では、勧誘チラシの見直し、分科会内の未加入者の勧誘、コロナ下でも感染対策しつつ活動を継続し、また近年の学習会や公開講座が一段と面白かったことも功を奏したのか今年度は 18 名

もの新人を迎えることができた。

過去には、入会しても学習会に参加するだけの人は 1・2 年で辞める事が多かったのでコロナ前は 7 月に分科会を紹介する懇談会を開いていた。

今年は入会者が多いので、絶対開催すべきと、昨年度の入会者と併せて 23 名を対象に計画した。

会場は、入口に受付、左側にテーブル 3 つを 2 列に並べ、前に分科会代表、後列に運営委員が座る。右側には、新入会員席が 9 テーブル、18 人が座れるようになっている。（写真）

懇談会は参加予定者全員が揃うのを待ち、定刻より少し遅れて山腰副代表の司会により始まった。

【代表挨拶】

冒頭、江口代表は、分科会に入らない人は早期に退会する事例が多いことを述べ「今日の懇談会で自分のやりたいことを見つけ、仲間づくりに役立てていただきたい」と、開催趣旨を説明した。

続いて『活動理念』（P6 を参照）に沿い、「“わ”の会は学習会と分科会の二本柱。分科会にも参加し、学び、同好の人達との交流を深め、豊かな生きがいづくりを進めること。」と会の理念を伝え、「メールやホームページ、会報で会員と連絡を取り、金沢区の生涯学習の会の中でも活発な団体の

一つである。歴史事典を編纂し社会還元にも努めている」と活動状況を説明した。更に「今日参加した人達には事典を特別価格でお分けする」と拡販の宣伝も忘れず、9名もの購入希望があった。最後にこの会の活動を支えている運営委員や分科会役員の努力に触れ、参加・協力を呼び掛けて挨拶を締めくくった。

【自己紹介】

コミュニケーションをよくするには、まずお互いを知ること。大人数ではあったが全員の自己紹介から始めた。一人1分～1分半という制限のため、簡潔に話すお手本を運営委員が示したあと、次に分科会代表、最後に入会会員の順に進めた。入会動機・在籍年数、出身地、会での役割、所属分科会、分科会の魅力や楽しさなどを話した。

運営委員の在籍年数は8年以内の人が多い。会則で代表の任期が最長4年となっており、世代交代と若返りがうまく回っている。入会後すぐに委員になり分科会にも参加した人がある反面、最初は学習会に参加するだけだったので寂しかったという人も数人いた。当然のことながら皆さん金沢の歴史に興味を持って入会している。

分科会代表になると“わ”の会発足時からいる大ベテランが多く、“わ”の会の代表や運営委員経験者も大勢いる。発足当初、区の指導による単年度会員制で抽選に外れた浪人経験者も数人いたが、数年後には継続会員優先に変更されたとのこと。

「昔は会社人間で近所付き合いもなかったが、分科会に参加して沢山のひとと知り合い、今では、夫婦で歩いていても家内より挨拶する人の数が多くなった」と話す。そして「分科会での活動が人生を豊かにしてくれた。頭と身体を使って健康に過ごすことができている。皆さんも、どこでもいいので分科会に参加することをお勧めします」と異口同音に話していた。

ここまで話を聞いた入会者のひとは、「リーダーになんと人材が揃っている会だろう」と感じたという。運営委員会ではこの日のために計画を練り、分科会と調整し、新人や関係者へ案内を出し、

資料を作り印刷し、会場を準備して新入会員を迎えた。受付では名簿で参加者を確認し記録する。配布資料には、懇談会次第、活動理念や会員名簿、座席表までついている。司会者は開会を宣言し資料確認、進め方、注意事項等、よどみなく会を進行していく。運営委員も分科会代表も短時間の中で、必要な内容を無駄なくかつ个性的に話していく。私たちには当たり前だが、もしかしたらこれはすごいことなのかもしれない。会場も次第に和んできたところで新入会員の自己紹介に移った。

新入会員のほとんどは金沢区の住人であるが、ずっと金沢に住んでいた人は少なく、関東近県や遠く関西から移ってきた人もいる。昨年の入会者や先に分科会に参加し今年入会した人もいるため、既に7～8名が分科会に参加していた。

“わ”の会入会のきっかけは、勧誘チラシを見た人が6名、知人の紹介が5名、公開講座やホームページも少数ながらいる。入会者はみな金沢の歴史に興味を持っており、“わ”の会だけでなく地域の他の活動に参加している方も少なからずいた。

年齢は60歳前の現役の方から、80歳を超える方まで幅広いが、昨年まで毎年ほぼ1歳ずつ上がっていた“わ”の会の平均年齢が今年は76歳に据え置かれたと聞いている。いずれにしろ皆さんの積極的な姿勢が強く感じられ、今後、会を活性化し支えていく人材として大いに期待したい。

【分科会紹介】

休憩の後、分科会紹介となる。司会者より「分科会の皆さん、会の魅力をアピールしてください。新入会員の皆さん、分科会の活動日は、重ならないよう日程を組んであるので全部入会してもOKですよ。」との案内に、会場が少しざわついた。

① 寺社/横山代表：“わ”の会は歴史を軸に活動しているが、この会は寺社に限定して鎌倉文化圏にある神社・仏閣を訪ねている。今年は大河ドラマ『鎌倉殿の13人』をテーマに巡っている。鎌倉ガイド協会の案内で一人では入れないところにも行けるし、レジュメも配られる。一緒に歩きながら話もできる。多少歩き、階段

もあるけれどもそれほどきつくはない。今は、半日で活動をしている。反省会と称して飲みニケーションもある。頭も体も適度に動かすことのできる手ごろな会ですよ。

- ② 古文書/松本副代表：毎月、第 2・第 4 木曜、金沢公会堂の第 2 会議室で開催。今は松平春嶽の幕政に対する改革案を読んでいる。また、吉宗の享保の改革に対し尾張藩がとった開放政策との対立について学習している。これはやがて幕府につぶされてしまう。講師は、歴史も勉強した立派な人です。
- ③ ふれあい/江口副代表：本日は柴崎代表がお休み。もともと関東ふれあいの道を歩く会として発足。今はそれも含め、野山のような低山などを 1 日かけて、いろいろ話しながら歩き、最後に打上げ（反省会と称す）で盛り上がる。途中に花が咲いていれば名前を調べ楽しむ。毎月第 3 木曜日に実施している。県外に出るときは朝早いこともあるが、頑張っていきましょう。
- ④ 映画/鶴岡代表：映画の会のメリットは、1) 大勢の人と共に大スクリーンで映画を観れること、2) 事前解説付き。映画のあとでも有志のメール解説がある。3) 年間スケジュールがあり、予定を立てて鑑賞できる。4) 年会費は 1000 円、コスパ最高。5) 希望者は鑑賞後の飲み会で感想を話し合える。入会希望者は、第 2・第 4 月曜に金沢地区センターへ来てください。
- ⑤ 俳句/小俣副代表：代表は太田です。俳人としてまた個人としての成長のため切磋琢磨し、17 文字に自分の思いを入れる。最近は俳句も盛んになった。季語は、江戸時代 2 千程度だったが今は 1 万 7～8 千もある。この会は、発足から 14 年。パソコンを持っていることが参加条件。活発に話し合えるざっくばらんな会です。会報にも載り、皆に読んでもらうのも励みになる。
- ⑥ パソコン/林副代表：月 2 回、第 2・第 3 火曜に八景コミュニティハウスで勉強会を開いている。外出困難な人は ZOOM での参加もできる。コロナの流行で多くの会は活動が止まったが、パソコンの会は自宅から ZOOM で活動を続けら

れた。ZOOM なら自分の操作内容を皆に見てもらってその場で直してもらえる。入会の条件は、メールができること。入会希望者は、会の代表相川に連絡してください。

【意見交換】

計画では、フリートーキングで質疑応答の予定だったが、時間が厳しくなり、司会者が指名して意見を聞く形に変えた。既に分科会に参加している人の感想を聞くと、分科会内で活発に話し合いに参加し、飲み会で話ができたり、安い会費で楽しめたりと皆さんとても満足げな様子だった。

また、「わ」の会は女性会員が少なく、2 割にも満たないので悩んでいる。どうしてでしょう？」との質問に対して「チラシを見ると『会社を定年後の人は・・・』と書いてあるなど男性目線が多い。女性の方も歓迎と書いてみてはいかが。」とか、「この会に入ったら、女性が少ないので驚いた。曜日が合わないのかもしれない、女性はいろいろやっている人が多い。また孫の世話、親の介護、自分の体調もある。」というような意見が出された。

以前から運営委員会が男ばかりなので、女性に入ってもらい、女性の視点で企画を立てる必要が議論されていたが、まさにそのものズバリの指摘だった。

以上

追記：

懇談会終了後、会場をスズラン通りカバズキッチンに移し、12時30分より懇親会を開催。新人14名、運営委員・分科会代表11名、計25名が参加。会場を4ブロックに分け、分科会代表と新人が混ざるよう席を抽選。全ブロックとも話がはずみ、途中で席移動もして、にぎやかに歓談した。予定を超過して15時過ぎに終了した。

コロナの第7波が立ち上がり始めているときに、ここまで盛り上がっていいのかなと思いつつ、実に楽しく有意義な時間を過ごすことができた。

“わ”の会 活動理念

地元 「金沢の歴史」を学ぶ ことを軸とし、

豊かな生きがい作り を進める

【 活 動 】

【 会 員 】

学 習 会

講座（地元のホールなどで）、
訪問講座（博物館などを訪問し）、
探訪（自ら史跡を巡る）を開催。
講師は専門家、ときには会員。

「金沢の歴史」を学ぶ

金沢の歴史を学びたい人

分 科 会

グループで学習内容などをさらに
深める

豊かな生きがい作り

同好の者との交流や
学習を深めたい人

会報・通信・ホームページ

連絡・活動状況報告・会員の寄稿

史跡などを訪ねた文章や
写真が得意な人

社 会 還 元

会員と市民を対象とした公開講座
開催、歴史事典・資料の発行頒布

金沢の歴史に詳しい人

運営委員会・分科会役員

学習会・特定行事の運営・会報発行・
ホームページ運用、分科会活動

学んだことを活かしたい人

編集やパソコンなど
自分の経験を活かしたい人

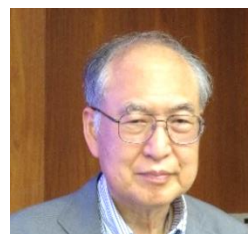
会の運営に興味のある人

2022 年度第 1 回学習会

『室町・戦国時代の六浦・金沢』

会報編集委員 鶴岡重典

- ・開催日： 2022 年 5 月 14 日(土)
10:30~12:30
- ・会場： 横浜市立大学カメリアホール
- ・講師： “わ” の会会員 松崎寛氏



【概要】

【はじめに】

例年、“わ” の会の第 1 回学習会は会員に講師を依頼しており、今年も会員の松崎寛氏による講演であった。内容も「室町・戦国時代の六浦・金沢」という“わ” の会にとってはど真ん中のタイトルであり、私にとっても「わが町六浦」の歴史を知る絶好の機会となった。

【全般的説明】

レジュメは最初に全体の要約がまとめられ、次に通常の説明が行われるという受験参考書にあるスタイルで構成されており、要約、説明、要約の順番で読むと理解が得られやすく工夫されている。時代は、「室町・戦国時代の」とあるように、鎌倉幕府滅亡の 1333 年から江戸幕府成立の 1603 年までの 270 年間が対象である。その 270 年を、足利氏・上杉氏が支配していた時代と小田原北条氏が支配していた時代に二分し、さらに足利氏・上杉氏支配時代を永享の乱を境に二分して説明している。地域的には現在の金沢区にほぼ相当する六浦庄（六浦本郷、金沢、富岡、釜利谷）、特に六浦、金沢が中心になっている。

【鎌倉幕府滅亡から永享の乱まで】

鎌倉幕府滅亡後、六浦庄は足利尊氏の所領となり、尊氏の弟直義が鎌倉に入り鎌倉公方として、関東管領上杉氏の補佐を受け関東 8 か国と伊豆・甲斐を支配する。その後、尊氏・直義の兄弟喧嘩（観応の擾乱）で尊氏が勝利し、鎌倉公方の足利基氏が六浦を支配する。しかし、尊氏が死亡すると上杉氏が関東管領に復活。さらに、足利持氏の時代になると再度、鎌倉公方が六浦・金沢地区の直接支配を行う。北条氏の庇護を失った稱名寺は、直義により安堵され湊の繁栄もあり安定した時代を迎える。この時代の六浦は相模湾側に良港を持ってない鎌倉の外港として発展し、商業の中心地として栄える。港の場所は時期により変遷するが六浦妙法などの有徳人の活躍も見られる。また、船中間答で有

名な上行寺や嶺松寺（明治期に廃寺）が建立される。頼朝により三島明神を勧請して建立された瀬戸神社は鎌倉公方の崇敬を受け、謡曲「放下僧」の舞台にもなる。

【永享の乱以降】

鎌倉公方の足利持氏が関東管領・上杉憲実と足利幕府に対して起こした永享の乱は幕府・上杉軍の勝利に終わり持氏は敗れる。六浦地区は戦場になり支配者も鎌倉公方系から上杉家家臣に変わる。上杉家家臣の中でも勢力を伸ばしたのが扇ガ谷上杉氏の太田道灌である。永享の乱により六浦の寺院も戦禍に巻き込まれる。影春の乱に巻き込まれたとされる浄願寺は焼失、住職が兼務していた光徳寺を合併し、洲崎に龍華寺を再興した。15世紀後半に起きた享徳の乱で鎌倉公方足利成氏が下総の古河に移ると鎌

倉は衰退し、外港である六浦も活気を失う。

【小田原北条氏の時代】

その後、北条早雲が鎌倉に入り、三浦氏を滅亡させ六浦地区は小田原北条氏の支配下に入る。町屋の伝心寺は玉縄城主の北条氏繁が開基となり建立した寺である。また、三艘会館にある文殊堂は小田原北条氏の家臣朝倉能登守景高の持仏堂である。この時代、六浦の状況は不明であるが、町の中心は町屋・洲崎地区に移っていく。対岸の房総半島では里見氏が台頭し、小田原北条氏と対峙。江戸湾を舞台に北条水軍と里見水軍が激戦を繰り返していた。当時は海路が発達しており江戸湾を挟んだ金沢と房総は密接な関係にあった。町屋地区では商業が発展し職人町としての発展もみられた。また、この頃創建された寺院として天然寺がある。

【おわりに】

我々は六浦・金沢が最も輝いていた鎌倉後期のことは比較的よく理解している。それに比して、鎌倉幕府滅亡後のわが町については意外によく理解していない。今回はその不十分な部分を補う講演であったと思う。レジュメも要約部分と説明部分が分けられ、固有名詞にはルビが付くなど分かり易く工夫されていたと思う。例年、会員から講師を務められる人材を輩出する当会の底力を誇りに思う。



2022 年度第 1 回学習会アンケート集計

“わ”の会運営委員会(2022.5.14 雨のち曇り)

『室町・戦国時代の六浦・金沢』 講師：松崎 寛氏

出席者		一般会員	委 員	計（出席率％）	ビジター	合計	アンケート（提出率％）
	男	59	7	66(72.5)	0	66	47(67.4) 47/73
	女	14	0	14(58.3)	0	14	
計		73	7	80(69.6)	0	80	

①講演内容評価

A. たいへん良かった	B. 良かった	C. 普通	D. つまらなかった	チェック無し
15 名	22 名	9 名	0 名	1 名

- ・身近な場所の歴史なので興味深く受講できました。系図を掲載していただければ更に分かりやすいと思います。
- ・六浦・金沢の支配者の変遷と寺院の成り立ちを二元的にまとめたものを、スライドを使って講演いただきよかった。その努力に敬意を表します。
- ・詳細な資料で今までにない支配関係などを紹介してくれて良かった。残念なことはいま一つ話が聞きとりにくかった。
- ・寺社・旧跡が残る金沢・六浦にどのような時代に誕生して、現在まで残ったか資料&スライドで分かった。
- ・よく知らなかった戦国時代の六浦・金沢の様子がわかるような説明をして頂いた。
- ・わかりにくい永享の乱あたりをくわしく教えてもらい良かった。今日みせてもらったスライドの場所をぜひ歩いてみたいです。
- ・室町時代の金沢区の歴史について聞く機会がなかなか無いため、大変役に立ちました。
- ・何気なく住む金沢の歴史、戦火の跡の文化面白かった。
- ・同じころ金沢に転居しましたが、知らないことばかりでありありがとうございました。これから資料を基に少しずつ(お寺を中心に)学んでいきたいと思います。
- ・生まれた地(六浦小近く)、父の実家(大道小近く)を含む地域が写真などで歴史的観点からの説明で興味深く聞いた。しかしながら講師の話がよく聞き取れず残念であった。内容も大事であるが話し方、伝え方もそれ以上に大切な事であると思います。
- ・金沢・六浦の歴史がわかりよかった。実家のお寺のなりたち分かった。ありがとうございました。
- ・話しが聞きとりにくかった。テーマをもう少ししぼった方が良かった？
- ・話が多岐にわたりとりとめのない話になり、時代的変遷につながらなかった。
- ・大変細かなところまで解説頂いた。
- ・室町時代に於ける六浦と鎌倉府そして旧・廃寺の関係がよく調べた。
- ・もうすこし話の内容を分かりやすく要約して話してほしい。(テーマにそって簡素化して話してほしい)
- ・レジメが素晴らしい。
- ・為政者と神社仏閣のつながり地元金沢/六浦の中でよく理解できた。レジメに古地図・系図を付けて頂けれ

ば、なお宜しかったのではと感じました。

- ・難しい中世、特に足利、上杉の関係を詳しく分析、解析いただいた。
- ・レジメと映像の関係がもう少し分かり易いと良かった。
- ・室町時代に、金沢・六浦がにぎやかにしていた事が、現存寺院等であらためて知った。
- ・よく研究されて興味深い内容だった。説明のスピードが速く聞き取りづらかったのが残念。
- ・解説が総花的で、ポイントが絞りにくかった。テーマを絞り、私説を入れた深掘りに期待したい。
- ・現住居に約27年となりますが、歴史的な事は殆ど知識にありません。(六浦→能見台) 少しずつでも勉強していきたいと思っています。その入り口として良かったと思います。ベースが無いので難しかった面も。
- ・よくまとめられた資料が大変良かった。
- ・興味深いテーマであった。内容が盛りたくさんすぎたのではないか。
- ・近隣の寺社について情報が得られ感謝申し上げます。
- ・六浦の歴史、流れ金沢の地形等概略が理解できた、寺社の変遷。
- ・むずかしい時代の講演でした。地域の寺社(跡含め)関連づけてよかった。
- ・これだけ詳しく調べるのは大変だったと思います。わかりやすい説明ありがとうございます。
- ・身近な地域にその時代の大きな歴史の流れを左右する出来事があることを知ることが出来た。
- ・地元金沢の室町・戦国時代の支配の移り変わりや上行寺、瀬戸神社などなじみのある寺社の成り立ちなどがわかりました。
- ・六浦、金沢の資料が良くまとめてあり分かりやすかった。写真も多く分かりやすい。ちょっと語尾が聞きとりにくい。

②松崎講師に希望する講演テーマについて

- ・上杉氏系統にしばって話を伺いたい。
- ・鎌倉時代の誕生から滅亡まで、講演願いたい。
- ・同時代のしたたかだった庶民の生活や物流などについてもお話し頂けるとありがたいです。
- ・いろいろあります……………今後楽しみです。「修理亮」←しゅりのすけ、「菊理姫」←くくりひめ では？
- ・今回のテーマを何回かに分けて詳しく解説していただけたらうれしいです。
- ・地元の面白い歴史などあったら、何かの機会を作って頂けたらうれしい。
- ・鎌倉時代から室町戦国時代に話をつなげて欲しい。国司、公方、執権、別当、御家人、地頭、守護、目代等わかりやすく説明して欲しい。何度聞いても良いので、また同じテーマで話していただきたい。
- ・また新しい内容調査、発見内容もお願いします。
- ・江戸、明治の六浦・金沢

③学習会運営評価

A. たいへん良かった	B. 良かった	C. 普通	D. 良くなかった
17 名	21 名	7 名	0 名

※チェック無し：2 名

- ・総会・学習会とも説明者、講師がマスクなしで開催できたことは、顔の見える話、聞き易さの面で良かった。

- ・運営がスムーズに行われて良かった。
- ・全体の進行がスムーズであった。
- ・いつもながら適切な運営で感服します。
- ・新しい仲間が加入され歓迎したい。わの会の認知度が上がっている証拠と思われます。新年度も役員の皆様よろしくお願いします。
- ・マスク着用等、講師、主催者不便の中大変スムーズに進行された努力に感謝
- ・直前までの大雨の中ご苦労様でした。
- ・マイクのハレーションが無ければベストでした。
- ・分科会報告は、文章で書かれている、もっと省略しても良かったのでは？
- ・資料は多彩で参考になります。但し、六浦、金沢地区の地図資料があれば良かった。
- ・手際のいい運営でした。資料の質が高かった。
- ・『事典』根強い人気が続いているとの由。まことにうれしいことです。今年度は 18 名の新入会員を得たとの由。なりよりです。運営委員の方々の御苦労に感謝。
- ・感染対策は十分。クーラーがきき過ぎていた。
- ・運営、進行が素晴らしい。
- ・会場が良かった、運営もスムーズに行われた。
- ・荒天にも関わらずありがとうございました。
- ・資料の配布、進行良し
- ・更に地元を知るよい機会だった

④新入会員(“わ”の会を何で知りましたか(回答 12 名))

- ① チラシ 7 名(金沢図書館 2 名 区役所 2 名)
- ② ホームページ 0 名
- ③ 知人・友人 5 名
- ④ その他 0 名

運営委員代表の意見・感想

- ・今回も、会員の松崎寛氏に、「室町・戦後期時代の六浦・金沢」というテーマで、現在残っている寺社・旧跡の誕生の背景などについて講演いただいた。
- ・この時代は、公方と管領の関係及び管領と関東武士の争いなど大変複雑な人間関係も絡み説明するのは大変難しいと思っていましたが、時代を永享の乱の前後に分けて説明されたのは良かったと思います。
- ・室町・戦後期時代の六浦・金沢に於ける、政治背景、寺社との関係、鎌倉などとの物流や鍛冶など多岐にわたった話でした。その内容をレジュメにまとめて頂いていますので、これをもとに、もう一度、素晴らしい六浦・金沢を見直すきっかけにしたいと思いました。

“わ”の会代表 江口正彦

名画座で人生を学んだ

”わ”の会会員 伊達一雄

日記をつける習慣がないので確かではないが、「懐かしの映画を観る会」に入会して10年以上経ったと思う。

最初に観た映画は思い出せないが、生まれて初めて出会った映画は何故かよく覚えている。

幼稚園の時に父と観た横山隆一のフクちゃんの漫画である。牛込区の矢来町にあった父の会社の社宅に住んでおり、近くの赤城神社の「ハトポップ幼稚園」に通っていた。ある時父に神楽坂にあった映画会に連れていかれた。ネットで検索して上映していたのは1944年10月に公開された「フクちゃんの潜水艦」と分かったが、実は全部を観ていない。

馬に跨った昭和天皇のニュースの後で本編が始まったが、まもなく空襲警報が鳴って打ち切りとなり追い出されてしまったのである。それっきり再入場もままならず損をしたという記憶だけが残っている。

忘れられないのは昭和20年3月11日我家の物干台から見た東京大空襲で焼ける下町の光景である。父が遺した手記には姉は「かわいそう」妹は「こわい」6歳の私は「きれいだな」と言ったとある。自分の言葉は全く記憶がないが、この家は5月の空襲で全焼し一家で長野に縁故疎開した。

赤城神社は2010年に隈研吾が監修したオシャレな本殿が出来て話題になったが、再訪したら本殿の裏にここに幼稚園があったという碑があった。

本気で映画を観はじめたのは大学生になってからだ。小遣いも少なかったので封切り映画を観る余裕がなく、専ら安い「名画座」に通っていた。

今のように入替がないので、混雑していたら1回目は立見、2回目は席に座り3回目は観たいところが過ぎて帰ることもあった。

最も思い出に残る名画座は「新宿日活名画座」である。場所は今の伊勢丹の前で封切館の「新宿日活」の5階にありエレベーターがないので急な階段を昇るしかなかった。ここで今も名作と言われる欧米の映画を観たが、売り出し前の和田誠が館主に頼まれ映画のポスターをタダで描いていたことを知ったのは最近のことである。横浜市立図書館でポスター集を見て改めて才能に感心したが、料金が40円から50円になったことを知った。トリスバーのハイボールが50円の時代で特に学生が多かったが、和田がタダ券ももらったことがないというのが凄い。

映画に“かぶれる”と云われるが主演の俳優に熱を上げたこともあった。ポーランドのA・ワイダ監督の「灰とダイヤモンド」のチブルスキー（ツィブリスキ）は最たるものである。時代背景はよく分からなかったが、二ヒルな二枚目の演技に惹かれた。次回作の「夜行列車」で彼が喫っていた吸い口が平べったいドイツ煙草ゲルベゾルテを無理して買って悦に入っていた。だが列車に飛び乗ろうとして失敗し事故死、39歳の短い一生だった。

女優ではゴダール監督の「勝手にしやがれ」のジーン・セバーグが忘れられない。デビューは若いが私と同じ1938年の生まれで40歳で亡くなった。

パリのモンパルナス墓地に行った時に彼女の墓にお参りした。近くにはサルトルとボーボアールの墓もあるが一番花束の多いのがセバーグの墓だった。ここで半日漬して家内に観光

に來たのにと怒られたのを思い出した。

ルイ・マル監督の「死刑台のエレベーター」「恋人たち」のジャンヌ・モローも好きだった。懐かしの映画を見る会で久しぶりに観た「現金に手を出すな」にジャン・ギャバンの情婦役で出ていた。

サラリーマン時代からよく通っていた赤坂の居酒屋があった。夫婦二人の日本酒と焼鳥の小さな店だが、壁に彼女の写真が貼ってあった。どうしたのと聞くと来日の際テレビ制作会社のひとと2回も訪れて酒を飲んだという。残念ながらコロナの影響もあって去年春40年目に店を閉じた。ジャンヌ・モローが好きだった店で同じ酒を飲んだというだけだが、勝手に縁があったと自慢にしている。

もう一つ池袋の「人生座」もよく通った。「舞踏会の手帖」や「自由を我らに」などフランスの名画を観た記憶がある。

もう一つ、現在の東銀座にあった旧三原橋の地下でエイゼンシュタインの「戦艦ポチョムキン」を観た。名前は忘れたが今は消えた場所なので懐かしい。

映画で見た場所を見たくて外国のロケ地を訪れた人も多いと思う。私はリタイア後が多く、「ローマの休日」の影響でコロッセオ、スペイン広場、トレビの泉、真実の口を追体験した。仲良しの3夫婦で訪れたベネチアではキャサリン・ヘップバーンが「旅情」の中で落ちた運河やベネチアングラスを買った店の前で記念撮影という定番を実行した。

パリのポンピドー・センターの美術館では小さな部屋で映写していたフィルムのドキュメンタリーに遭遇した。全編フランス語でよく分からないが映画の歴史が面白かったので見続けた。これが有名な「ゴダールの映画史」で、観たのはまさに幸運と言わざるを得ない。

映画雑誌の編集の経験もある向田邦子は「映画を見た後の雰囲気は全くその映画に左右されてしまいます」と書いているが、名画の影響はその後の人生にも及んでいるのは事実である。

私の場合は懐かしの映画を観る会に入って、月に2回若い頃に影響を受けた名画と老後に再会するという楽しみを満喫しているという訳である。

古い映画を観て若い頃を思い出すのが老化防止になるかは疑わしいが、記憶力の衰えた脳の錆び落としの効果はあると思う。先頃はヒッチコックの映画を観て70年前に振られた年下の彼女を思い出したが、そんな哀しい青春時代が甦るのも悪くはない。

一つ困るのは年を取るにつれて涙腺が緩くなりすぐ泣いてしまうことである。映画館ではごまかせるが地区センターでは知っている顔ばかりでバツが悪い。涙で終わる映画は直ぐに電気をつけないようにしてほしいと秘かに願っている。

実は好きな映画はないかと聞かれるのが最も困る。余り多すぎて絞りきれないが、洋画ならチャップリンの「独裁者」、「第三の男」「ニュー・シネマ・パラダイス」、邦画では「七人の侍」「東京物語」「飢餓海峡」を挙げておく。

懐かしの映画を観る会を立ち上げた佐藤晃さんは、会報で「私たちの青春時代、映画は人生の学校だった」と書いている。

含蓄のある名言であり、年を取ってからでも新たな発見があるので、謙虚に学び続けたいと思う。

そんな訳で、私は第二、第四月曜の映画会という学校に重くなった足を運んでいるという訳である。

『寺社を巡る会』活動記録

令和3年度第12回

令和4年度第1回～第2回

令和3年度

第12回 知られざる切通と六国見山

開催日：令和4年4月7日（木）

コース：常楽寺～多聞院～六国見山富士塚～長窪切通～甘糟家長屋門

上記で計画したが、新型コロナウイルス感染リスク対応にて中止した。

令和4年度

第1回「鎌倉殿の13人・大河ドラマ館」を見学

開催日：令和4年5月13日（金）

コース：鎌倉駅西口時計台広場(集合)～大河ドラマ館(見学後解散)

参加者：18名

あいにくの雨の為、本来予定していたコースであった「頼朝法華堂跡」「永福寺跡」を断念して、大河ドラマ館のみをじっくり見学することとなった。

鎌倉駅西口広場を10時過ぎに出発。非常に多くの高校生が校外学習に訪れており、コロナ禍の自粛ムードが少しずつ緩和されていることを感じた。

ドラマ館に着く前に途中でいくつかの説明があった。三の鳥居の前で、鎌倉時代は段力ズラの両サイドには北条氏や有力御家人の館があり、段力ズラは神聖な参道であったため、出入り口は反対側につくっていた事、八幡宮に近づくほど道幅を狭くする遠近法を用いてその神聖さを強調した事、かつては、水はけの悪い湿地であった事などである。段力ズラを下りて、歩道を歩くと、馴染みの店舗が数店閉店となっていた。ガイドの方曰く、「この辺りは賃料がひと月200万円はかかるので、現在の状況下での経営状況はけっこう厳しい」とのこと。

次に、八幡宮近くの峰本ビル1階を訪れる。ここには、ビル建設の際に行われた《遺跡発掘調査》で出土した遺構が《原位置再生保存》の形で展示されている。北条泰時以降得宗筋の屋敷「北条小町邸跡」とされる遺構で、800年前の当時

の生活様式を垣間見ることができる。大河ドラマ人気で観光客にも人気のスポットとの事。また、鎌倉初の「有料トイレ」(¥100)もあり、専用の上質なパウダールームを提供しているという。

ほどなく鎌倉文華館鶴岡ミュージアムに到着する。建物は、日本最古の公立近代美術館として国の重要文化財となっている。現在は、「鎌倉殿の13人大河ドラマ館」特別企画展を開催中で、映像展示や衣装等の実物展示で構成されている。



(大河ドラマ館入り口)

脚本の三谷幸喜氏のインタビュー映像から始まり、当時の再現ジオラマ、再現幕府内で烏帽子をかぶっての記念撮影スポット、大型壁面での背景映像や4K スクリーンでのメイン出演者等のインタビュー、時代考証などを紹介するシアター映像などが用意されている。「鎌倉殿の13人」の舞台である鎌倉で、大河ドラマの世界観を、世代を超えて広く楽しめるような構成を目指しているであろう。展示は3月1日より来年1月9日までとのこと。



(ミュージアム入館前の説明)

当会も今年は大河ドラマ関連の寺社を巡るのであるから、この展示は、今後の活動のドラマを楽しむ上での理解のベースとなるかもしれない。

11時35分に集合して、解散。その後希望者は鎌倉ガイド協会の案内で白旗神社、カトリック雪ノ下協会などを回り鎌倉駅に向かった。

本来の「寺社を巡る会」開催の日程は、5月5日であったが、連休中の鎌倉の人出を考慮し、13日の開催となった。雨が本降りになるとの予報でのコース変更であったが、その分大河ドラマ館をゆっくり見学することが出来た。18名という寂しい出席ではあったが、参加者のほとんどが初めてのドラマ館見学を楽しみにされていたので、その点ではかえって良かったのかと考える。

(川口 壽 記)

第2回 ニ將軍・北条政子の苦悩

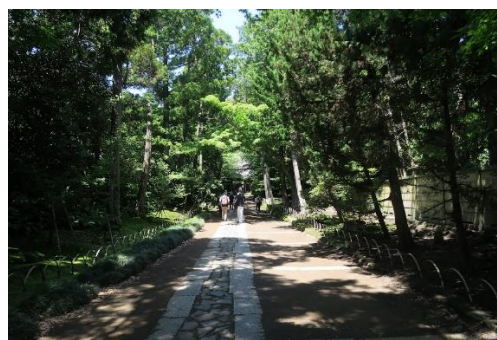
開催日：令和4年6月2日(木)

コース：鎌倉駅(集合)～寿福寺～鶴岡八幡宮～段葛～琴弾橋～妙本寺～鎌倉駅(解散)

参加者：24名

先月と違い、久しぶりの晴天に恵まれ参加者は大喜び。各班6名ずつで構成。今回のテーマ「北条政子」のゆかりの地を歩いた。

鎌倉駅西口から真直ぐ、寿福寺に向う。頼朝の死後、政子は頼朝の遺志を継ぎ、栄西を開山に招き二代將軍頼家を開基として亀谷山という山号の寺を創建した。三代將軍実朝もしばしば訪れた。鎌倉五山第三位であり政子と実朝のお墓がある。



(寿福寺参道)

また、広大な墓地には、大仏次郎家のお墓など、かなりの有名な人たちが埋葬されている。

次に、鶴岡八幡宮に参拝し、実朝が暗殺された大イチョウ付近を見学する。

段葛では、両側には北条氏や有力御家人たちの館

があり、西側は千坪、東側は二千五百坪ある。

次は滑川(夷堂川)に架かる琴弾橋。橋の正面の小高い丘は「小御所ヶ丘」と言い、二代将軍頼家の妻と、その子一幡が住んでいた御所からそう言われている。昔、この丘には琴弾の松があったと伝えられ、この松の枝が風にゆれる時、ちょうど琴を弾くような美しい音がしていたので、いつのことか「琴弾きの松」と呼ばれるようになった、ようである。



(妙本寺(日蓮宗)二天門)

最後は妙本寺へ。この地は鎌倉初期の幕府の重鎮・比企一族の邸跡で、「比企の乱」のあった場所

である。比企能員は娘が二代将軍源頼家の夫人となり、一幡を産んだこともあり、将軍の舅として権勢を増していた。1203年に頼家の病気を巡る方針の対立から、北条時政は能員を殺害し、この地を攻めてその一族を滅ぼした。

これを機に頼家は伊豆の修善寺に幽閉され、翌年暗殺された。幼児の能本は難を逃れ、成人して京都で学者となっていたが、後に鎌倉に戻った。日蓮に帰依した能本は一族の霊を弔うためにここに法華堂を建立して寄進した。日蓮は能本の父・母の法号「長興・妙本」の名をとって寺の名にしたという。妙本寺は広大な境内を有しており、実に静かな山間にある。

久しぶりに、じっくりとガイドさんの説明を聞くことができた。とくに、政子の苦悩は、夫頼朝の死後、4人の息子・娘を失い、自身は68才まで生きたことという。

また、本日のガイドさんは、雑談を交えながら、参加者を楽しませていただきました。ありがとうございました。

(佐々木 茂夫 記)

古文書を読む会 学習記録

第一学習 参勤交代（松平春嶽）昨夢記事		
開催日時 会場 テーマ	学 習 内 容	参加者
2022 年 4 月 14 日 （木） 金沢公会堂 第 2 会議室 参勤交代 松平春嶽⑦ 昨夢記事	・ 諸大名は国許より多人数呼び寄せ日々の雑費も多く国力疲弊し、武備費用にも困っている。この対策として参勤交代制度を改革し、諸大名妻女を国許へ帰し、年始より歳暮までの進物一切止め、役人方への贈り物も止め且つ大名は三・四年に一度づつの参府にすれば幕府のみならず諸侯も大いに助かる。 ・ 諸侯の難儀は皇国の衰弱でもあるので、こうして負担を軽くし只管文武に打掛れば有事に間に合う。公辺においても優柔不断の対応ではなく必戦の覚悟をすれば、神洲悉く盤石になり、皇威を海外に輝かす事必定です。 ・ 現在は末世に陥り人心も分散し容易には対応難しき時なので、ここは水戸中納言（徳川斉昭）を総督（海防参与）に命じられれば、衆人も安堵致し評議も一致固まるであらう。	10 名
2022 年 5 月 12 日 （木） 金沢公会堂 第 2 会議室 参勤交代 松平春嶽⑧ 昨夢記事	最初に講師より参勤交代制度の変遷と嘉永六年より安政期の政治状況の説明があった。 愚衷（＝愚案） 安政二年（1855）10月中旬 松平春嶽から徳川斉昭（海防参与）宛 ・ 現在の事態は「必戦」を期し「必死」を覚悟し嚴重な防備体制の構築が必要なのに「因循偷安の風習」のままなのは、指導者が口では「必戦」唱えても心では「必戦の覚悟」がなく「不決断」の故であり、「国家困弊」に陥っている。 ・ 対外方針も天保時に異国船打払令を廃止し「薪水給与令」に切り替えたため必戦の覚悟が出来ない。 ・ 夷国とは和親条約を締結しているので安心せよとの指示であるが、全権会議で締結した条約は信用できないものだ。夷国は東京湾測量を要求しており、拒否すれば何が起こるか予測できない。 ・ 今必要なのは必戦の実を示し、大小諸侯を必戦の方向へ仕向けることであり、その体制準備をすることだ。以下に体制構築の具体策を示す。 ・ 大小諸藩疲弊救助の為に諸献上物の省略、諸有司への贈進或いは両山の火防及び門番等も免除。	11 名
2022 年 6 月 9 日 （木） 金沢公会堂 第 2 会議室 参勤交代 松平春嶽⑨ 昨夢記事	大切なのは必戦の覚悟よりも必戦の手段である。そのためには大小諸侯をもっと使用すべきだ。 以下にその体制作りのための主な具体策を申し述べる。 ・ 参勤交代は今の天下の諸侯を二分しての隔年交替を、四分して四年に一度の参勤に改め、在国を三カ年にして在国の政治や軍事訓練（演武）に励み、在府の一年は在国同様の心得を以て防衛守衛にあたること。そうすれば華美奢麗も止み費用も大いに節約出来る。嫡子、庶子の帰国も勝手次第とし、在府中の礼式、服制も改める。 ・ 江戸の邸宅は留守の者を少数残すのみとし、妻女については戦争の際に混乱が生じないように、事前に銘々国邑に引き移すなど事前に対処方法を指示しておく事。 ・ 在府の大小侯伯は四季に一度、広い荒野で操練すること。 ・ 軍艦製造を急ぐべき、その為に高百石につき金十金（両）づつの課役を課し建造費に充てる。これにより沿岸の諸侯は全て軍艦を備え、自国の支援、他国の応援にあたる事が出来る。	12 名

古文書を読む会 学習記録

第二学習 吉宗と尾張藩主宗春の角逐			
開催日時 会場 テーマ	学 習 内 容		参加者
2022 年 4 月 28 日 (木) 金沢公会堂 第 2 会議室 第 2 学習 吉宗と尾張 藩主宗春の 角逐①	尾張藩第七代藩主徳川「宗春」は最初の帰国にあたり施政の方向を示した「温知政要」を著わし、綱紀肅正・緊縮を旨とした吉宗の「享保の改革」に反対し、積極経済、放任政策を展開し名古屋を繁栄に導いた。しかしこれから将軍吉宗との角逐が始まる。 ・（尾張藩）本家を受け継ぐこととなったが、初心が大切なので以下に本意を書いて臣下に示達する。 ・人の道の基本は「仁」で「慈」と「忍」二字で示され、慈は太陽、忍は月にたとえられる。 ・武勇知謀の名将は多いが、功業が子孫二代と続かないのは慈仁の心なく私欲が盛んの為。東照宮（家康）は寛仁の徳をそなえ下々まで慈悲深い明君だったから、子孫まで徳行が受け継がれた。 ・国政に万一誤りがあっても、すぐに改めればよい。しかし刑を科す者は後で悔いても取り返しがつかないので、よくよく吟味の上的対処する事。先入観にとらわれてはいけない。 ・上に立つ者は最初心がけは立派だが、後には政務も取り乱す者が多い。注意すべし。 ・学問は重要だが、その学び方を誤らないことが最も大切。邪知は禁物。		11 名
2022 年 5 月 26 日 (木) 金沢公会堂 第 2 会議室 第 2 学習 吉宗と尾張 藩主宗春の 角逐②	・学問は重要であるが、大事なのは学び方を誤まらないことだ。学問で下手に知恵を付けると悪いことをするようになるので「生まれ付きの本心」を大切にすべきだ。 - 殊に人の上たる者は慈悲、憐みが第一の学問と心得よ。 ・すべての物にはそれぞれ能力がある。人は生まれつき得手不得手があるから上司は役職を適材適所で決めるべきだ。人材登用は上に立つ者の責務だから、部下の能力を根気よく見極めるべきだ。（次の3箇条は吉宗を批判するもの） ・人は好き嫌いのあるものだ。それを自分が好きだからといって人にも好ませ、自分が嫌いなものを人にも嫌わせようとするのは、人の上たる者はしてはならない。 ・規則が多いのは良くない。法度号令が年々多くなるにしたがい背く者も多くなる。些細なるものは取り除き、取り扱い少なければ法を守りやすくなり背く者も少なくなる。 ・省略・倅約は家を治める根本なれば最も務むべき事也。さりながら倅約するばかりでは諸人は甚だ苦しむことになる。過度な倅約省略はかえって無益である。厳しすぎる倅地は農民を委縮させる。多少の目こぼしは認めて然るべきではないか。		11 名
2022 年 6 月 23 日 (木) 金沢公会堂 第 2 会議室 第 2 学習 吉宗と尾張 藩主宗春の 角逐③	・宜しからぬ事でも、慣れてしまうと気にならなくなる。臭気も同じ。そうならないよう戒めが必要。 ・生れた時はみな同じその後の所作で変わる。仕事のない時でも武術、学問など研修に励むべし。 ・勸進能、見世物、神社参詣の路地には茶店の類許可すべし。遊びは人間の本性である。伝統行事や祭り等も下々の潤いになり、自然と賑わい風俗までも宜しくなる。事件・事故が起こってもそれだけを理由に禁止すべきではない。 ・他国を知らねば自国の善悪も知ることが出来ない。他国の人とも付き合うべし。 ・わずかの期間で藝を習得したと思い込むような者は未練未熟者であり、熟練が大切。 ・身分制度の世の中、上たる人へ諫言はむづかしいが、叔父の子や甥に意見するにも、朋友の間にて、その年齢、相手の心情や立場を考えて云うべきである。 ・分別ある人でも、若い時は一度や二度のあやまりはある。これに気づき、よく勤めれば今迄の あやまりも良い経験になり立派な人間になれる。		12 名

「ふれあいの道歩こう会」実施概要 No.37

代 表 柴崎 幸治

通算 第 174 回 関東ふれあいの道 神奈川県コース 13 番 山里から津久井湖のみち

4 月の例会は、新型コロナウイルス感染症の第 6 波(オミクロン株)に対応するため、2 月例会コースを 4 月に延期しての実施であった。本例会の神奈川県コース 13 番「山里から津久井湖のみち」は、津久井の山里の風景を眺めながら、中世の山城の遺構・城山に登り、津久井湖の展望を楽しむハイキングコースである。

朝の 7 時 40 分に小田急本厚木駅に集合し、バスで半原へ、半原で三ヶ木行のバスに乗換、起点である葦尾根(にろうね)バス停で降りる。この葦尾根は宮ヶ瀬湖への入口の近くであり、丹沢パンの工場直営店があるが、牧場、農場などの集落である。バスを降り、民家の並ぶ道を農道に出る。この農道で、準備体操、当番挨拶を済ませ、早々に出発するが、先頭が出発して、殿が出ようとしているとき、地の古老?が、とんでもない情報をもたらしてくれた。それは、今向かっている雨乞山はこの季節ヒルの山であるということだ。後方集団は必至に前方に追いつくべく、急ぐが、こんな時に限り、先鋒は休みもせず、ひたすら進む、追いついたのは雨乞山の中腹である。ここでヒル対策を実施するも、既に皆が被害に遭っていた。この山のヒルの元気さ、多さにはあきれ、びっくりした。ヒルと闘いながら、雨乞山山頂、特に展望がなく、普通の里山である。山頂での記念撮影も早々に下り始める。起伏のあるやや急な道を進み、稻生の桜山の分岐、更に下ると、明日原(あしたはら)の耕作地に出る。ここからは根小屋の集落、城山が一望できる。ここで、休憩、ヒル点検とほっとした時であった。そこからは集落の道、農道を歩くと、串川に架かる平井橋に到着する。この平井橋下の河原で昼食。近くには「久保田酒造(清酒「相模灘」等)」があり、昼食の合間に購入された方もいる。平井橋からは根小屋の集落を通る舗装道路の急な、ガラガラな、平たんな道を歩くと、やがて県立津久井湖城山公園の駐車場前に着く。ここからは諏訪神社横の城山登山口から登り始める。城山への山道は男坂を上り、やがて十字路の尾根に出る。この最後の登りがきつい。十字路を左折し、城山山頂に向かう。山頂では「筑井古城記の碑」前で記念撮影、トイレタイム。山頂を後にして、十字路まで戻り、真っ直ぐ進み、登り終わると飯縄神社である。その先の展望台から山並み等の眺めを楽しみ、宝ヶ池を通り、(本来であると荒川登山道を通り、花の苑池に出るのであるが、登山道の一部が崩壊しており、通行止め)飯縄神社を通り、十字路に戻り、右折して女坂に入る。女坂は穏やかな道で、途中からは小網登山道に入りやや急な下り道に入る。ほぼ麓に着くと板敷のらくらく登山道を通り、津久井湖城山公園・花の苑池、城山ダムを渡り、少し歩くと終点の城山高校バス停である。ここからは JR 横浜線橋本駅行のバスに乗り、帰途につく。

実施日：2022 年 4 月 22 日(木) 天候：晴れ 歩行時間：約 5 時間 歩行距離：約 10km

参加者：16 名(男性 12 名 女性 4 名) コース所在地：神奈川県 相模原市

交通：往路：京急 金沢文庫 6:22 発 ⇒ 6:40 着 横浜 [相鉄] 6:51 発 ⇒ 7:23 着 海老名 [小田急小田原線] 7:30 発 ⇒ 7:34 着 本厚木

復路：JR 横浜線 橋本駅 16:23 発 ⇒ 横浜 (乗換)[京急] ⇒ 17:15 着 金沢文庫

コースと時間：本厚木駅 7:45 発(神奈中バス 半原行) ⇒ 8:35 着 半原バス停(乗換) 9:00 発(三ヶ木行) ⇒ 9:10 着 葦尾根バス停 ⇒ 9:10 農道 [準備体操・挨拶] 9:20 ⇒ 10:30 雨乞山 ⇒ 10:45 稻生桜山分岐 ⇒ 11:20 明日原 ⇒ 11:50 平井橋[串川河原にて昼食] 12:30 ⇒ 13:30 城山根本堂入口 ⇒ 13:40 男坂・女坂分岐 ⇒ (男坂) ⇒ 13:50 城山山頂 14:05 ⇒ 14:15 飯縄神社・展望台 ⇒ 14:20 宝ヶ池 ⇒ 14:30 本丸曲輪・飯縄曲輪分岐(十字路) ⇒ (女坂) ⇒ 14:45 小網登山道入口 ⇒ 15:00 らくらく登山道 ⇒ 15:10 津久井湖城山公園 ⇒ 15:20 城山ダム ⇒ 15:35 城山高校バス停 16:40 発(神奈中バス 橋本駅北口行) ⇒ 16:10 橋本駅

春の湖渡りてゴール晴れ日和 一杓



蛭に悩まされた雨乞山山頂にて



城山 筑井古城記の碑前にて

通算 第 175 回 関東ふれあいの道 神奈川県コース 17 番 北条武田合戦場のみち

5 月は神奈川県コース 17 番「北条武田合戦場のみち」を、満を持す形で実施した。というのはこの 17 番は神奈川県コースの中で、最も労力を要するであろうといわれている距離 16.2km、所要 5 時間 30 分のコースであるからである。そして計画の段階から、予め最も歩き易いであろう季節・月に設定していた。

本コースは坂尻バス停から半原越までは、12 番「丹沢山塊東辺のみち」と同じ法輪堂(おろんど)林道を歩き、そこからは経ヶ岳(633m)を登り、展望を楽しみ、田代半蔵坊側に下り、今は長閑な山里になっている古戦場を歩き、戦国時代に思いを馳せつつ、峠をふたつ越し、葦尾根(にろうね)バス停までのコースである。

ふれあいの道坂尻公衆便所の前で準備体操・挨拶を済ませ、2021 年 10 月に歩いた法輪堂林道をひたすら、なれた足つきで半原越まで一気である。前回よりも少し早い到着であった。この半原越で小休憩の後、経ヶ岳への階段を急登すると尾根歩きとなり、丹沢の山並みを展望しつつ、経石を過ぎると経ヶ岳山頂である。山頂からの展望も良い。山頂より少し下ったベンチで昼食とする。昼食後のコースはひたすら下り、大沢ノ頭を過ぎ法華峰林道へ、そして再び山道に入り、下り続けると川筋の道となり、県道の平山坂下に出る。その県道を少し歩くと、立派な山門のある勝楽寺の門前が出る。この勝楽寺内には田代半蔵坊があり、寺自体が見ごたえあり、見学を兼ね少し長めの休息をとり、この後の歩みに調子を整える。さあ、再スタートである。ここからはほぼ舗装道路歩行である。角田大橋を渡り中津川を超え、脇道にはいると戸倉の集落である。戸倉からは戸倉坂のだらだらとした登りが続く、ほぼ登り切ると田畑の広がる三増である。ようやく本コースの撮影ポイントである「三増合戦場の碑」である。碑の隣には東屋があり、休憩には最高である。撮影、休憩もそこそこに、田畑のなかの道を歩き始める。この辺りは民家、畑等が混在する地であり、やがて東名カントリークラブの正門前が出る。そこを過ぎると、民家もなくなり、舗装道路もやがて砂利道になり、山の中の林道風になり、緩やかな上り道が続く、引きずるように足を運ぶ、やがて志田峠が見えてくるが、なかなかたどり着かない。なんやかんやでようやく志田峠。当然、ここで記念撮影、みんな疲れ切っている。志田峠からは下りの道で、比較的楽な歩みで、東京農工大前、そして 13 番「山里から津久井湖のみち」の呪わしきヒルの山、雨乞山へのスタートの地に、ここまでくれば、しめたもの、葦尾根バス停まで一気である。皆さんへばりながらも無事到着。万歳。この葦尾根バス停から半原よりに「丹沢あんぱん」の工場直営販売店があり、休憩スポットになっており、各自、あんぱんを買ったり、着替えたり、しばしの休息をとり、数少ない半原行のバスを待つこととする。帰路は半原バス停でバスを乗換、本厚木駅に出て、横浜へと戻る。

実施日：2022 年 5 月 19 日(木) 天候：晴れ 歩行時間：5 時間 30 分 歩行距離 約 16.2km

参加者：15 名(男性 11 名 女性 4 名)

コース所在地：神奈川県 清川村 愛川村

交通：往路：京急 金沢文庫 5:59 発 ⇒ 6:14 着 横浜 [相鉄] 6:22 発 ⇒ 6:57 着 海老名 [小田急] 7:07 発 ⇒ 7:12 着 本厚木

復路：葦尾根バス停 16:18 発 ⇒ 16:25 着 半原バス停 16:40 発 ⇒ 17:30 着 小田急 本厚木駅 小田急 本厚木 17:37 発 ⇒ 17:42 着 海老名 [相鉄] 17:56 発 ⇒ 18:20 着 横浜

コースと時間：本厚木駅 7:40 発(神奈中バス 宮ヶ瀬行) ⇒ 8:23 着 坂尻バス停 バス停 8:25 ⇒ 8:30 関東ふれあいの道坂尻公衆便所前[挨拶・準備体操] 8:45 ⇒ 9:10 リッチランド前 ⇒ 9:35 法輪堂橋 ⇒ 10:07 半原越 10:20 ⇒ 10:50 経ヶ岳 11:00 ⇒ 11:10 頂上少し下のベンチ(昼食) 11:40 ⇒ 12:20 法華峰林道 ⇒ 13:05 平山坂 ⇒ 13:15 勝楽寺・田代半蔵坊(休憩・トイレ) 13:35 ⇒ 13:40 日月神社入口 ⇒ 13:50 角田大橋 ⇒ 14:00 戸倉 ⇒ 14:20 三増合戦場碑(撮影 P.) 14:30 ⇒ 14:35 幡立松分岐 ⇒ 14:45 東名 C.C. 入口 ⇒ 15:05 志田峠 15:15 ⇒ 15:30 東京農工大農場 ⇒ 15:40 葦尾根バス停

晴れ日和合戦の碑や若葉風 一杣



経ヶ岳山頂にて



三増合戦場の碑の前にて

通算 第 176 回 関東ふれあいの道 神奈川県コース 14 番 峰の薬師へのみち

6 月例会は、神奈川県コースの本来的な最終コースと言っても良い、14 番「峰の薬師へのみち」を実施した。本コースは城山高校前バス停を起点とし、峰の薬師の歴史にふれながら、津久井湖や丹沢の山々の展望を楽しみ、終点である東京都の梅の木平バス停に至るハイキングコースである。また、本コースの逆行となる梅の木平バス停を起点とする『関東ふれあいの道 東京都コース 1 番「湖のみち」』の一部でもある。因みに「湖のみち」は、梅の木平バス停～三沢峠～泰光寺山～西山峠～中沢山～大洞山～大垂水峠～小仏城山～一丁平～もみじ台～高尾山～高尾山口駅までの所要時間 8 時間/歩行距離 16.2km のコースである。

朝 9 時 20 分に JR 横浜線橋本駅改札口に集合し、北口のバス停より、城山高校前バス停経由のバスに乗りこむ。バスを降りると、道を渡り、ちょっと歩き「津久井湖城山公園」で準備体操・挨拶、そしてトイレを済ませスタート。早々に津久井の鎮守三嶋神社である。40～50 段ある階段を上り参拝、歴史を感じられる神社であった。また、巨大なスタジイが印象的だった。その後は民家、畑もある道を歩くと、峯の薬師の看板、そこを入口として峰の薬師への参道に入る。最後は山道となるが、時たま垣間見える津久井湖が美しい。やがて、峰の薬師(東慶寺)に到着、今日はお守り、御朱印等も頂けるようだ。当然、大休憩とし、新設なったトイレの利用、「姿三四郎決闘の場」という碑の前での記念撮影、勿論、撮影ポイントである「鐘撞堂」前での撮影を行った。休息後は鐘撞堂の前を通り、本殿へ、お参りし、本殿横から奥の院に進む途中からの津久井湖の眺めは新緑との調和なのか、さらに美しい眺めであった。そこを少し行くと奥の院、本院よりも造りは大きい、さびれ、静まりかえり、寂しくもあり悲しくもある。当薬師は武相四大薬師の一つで、三井(みい)の薬師とも呼ばれ、曹洞宗の寺院で大覚山東慶寺と号するとのことである。奥の院を後にし、かなり大きめの電波塔施設を過ぎると峰の薬師と別れ、三沢峠への道となる。霧が出ているようだ。もやっている。

やがて三沢峠に出る。「南高尾風景林」の掲示があり、新緑、森林が美しい。峠にはテーブルが何基もあり、昼食をここでとる。楽しい昼食を済ませ、記念撮影。いよいよ東京都側へとスタートする。新緑の中、なだらかな下りの道、途中「キヨスミウツボ」の保護?をしている人に会う。「キヨスミウツボ」撮影、その人には SNS 等はアップしないでくれと口酸っぱく言われる。やがて、林道になり、ここでも「キヌガサダケ」というキノコを見ることができた。段々と里に近づき、料亭らしき建屋、なんと「うかい竹亭」である。一人幾らぐらいかかるのかなど、話止まず。やがて、東京都側の「峯の薬師」の立て看板、そこを過ぎると車道に出る。そこが終点、梅の木平バス停である。長閑なハイキングコースであったなあ等と考えながら、車道、インターチェンジに沿った複雑な歩道をひたすら京王電鉄高尾山口駅を目指す。なんか下界は暑い、そうこうしているうちに高尾山口駅である。駅前には小学生の遠足だろうか。100 人近くはいるのか、隈研吾さんデザインでリニューアルされた駅広場の木製の大きい庇の下を埋め尽くしていた。そんな中、我々はトイレで、手を洗ったり顔洗ったり、着かえたりと、その後、駅広場で一応解散し、帰途についた。

実施日：2022 年 6 月 16 日(木) 天候：曇り コース所要時間：4 時間 20 分 距離：約 8.9km

参加者：21 名(男性 17 名 女性 4 名)

コース所在地：神奈川県 相模原市 東京都 八王子市

交通：往路：京急 金沢文庫 7:58 発⇒8:19 着 横浜 [JR 横浜線] 8:23 発⇒9:13 着 橋本

橋本駅北口(神奈中バス) 9:25 発⇒9:50 着 城山高校前バス停

復路：京王 高尾山口 14:32 発⇒14:40 着 高尾 [JR 中央線] 14:52 発⇒14:58 着 八王子

[JR 横浜線] 15:09 発⇒16:01 着 横浜

コースと時間：城山高校前バス停 10:00⇒10:05 津久井湖城山公園 [挨拶・準備体操] 10:15⇒10:25
三嶋神社(参拝) 10:35⇒11:15 峰の薬師 東慶寺 (撮影 P. 鐘撞堂) 11:35⇒11:45 奥の院
⇒12:05 三沢峠(昼食) 12:45⇒14:00 梅の木平バス停⇒14:20 京王 高尾山口駅)

夏木立枝葉を伸ばし天を突く 一杣



峰の薬師 鐘撞堂前 にて



三沢峠(神奈川県・東京都 境界) にて

かくも長き不在

観賞日 2022年4月11日 上映時間 98分

【参加者：45名】

【概要】

制作 1961年 フランス

監督 アンリ・コルピ

脚本 マルグリット・デュラス、ジェラルド・ジャルロ

音楽 ジョルジュ・ドルリュ

撮影 マルセル・ウェイス

出演 アリダ・ヴァリ（テレーズ・ラングロワ）、ジョルジュ・ウィルソン（浮浪者）
ジャック・アルダン（ピエール）

【あらすじ】

1960年7月、パリ祭当日。テレーズ・ラングロワはパリでカフェを営む中年女性。テレーズにはピエールという恋人がいる。翌日、店の前を通りかかった粗末な身なりの男を見かけたテレーズは仰天する。その男が16年前にゲシュタポに連行され行方不明となっていた夫のアルベールにそっくりだったのだ。男の後を追うテレーズ。しかし男は過去の記憶をなくしていた。男は捨てられた雑誌を収集、販売して生計を立てていた。ある日、テレーズは男が良く口ずさむ音楽をかけて、店の前を通る男を店に誘い込んだ。店には客を装いアルベールをよく知る近親者を待機させ、テレーズはわざと男に聞こえるように身の上話をし、男の反応をみた。アルベールに間違いないと語るテレーズに対し、近親者は違うと反論。再びやって来た男をテレーズは精一杯もてなし、過去の記憶を辿らせる。ディナーも終わり店を出た男にテレーズは「アルベール・ラングロワ」と叫ぶ。すると、男は突然走り出して・・・。

衝撃のラスト・シーン。戦闘シーンのない反戦映画。切ないラブストーリー。

【解説】

■ポイント

●アリダ・ヴァリ（1921年～2006年）

- ・イタリア生まれ。1935年、銀幕デビュー、戦後、ハリウッドデビュー
- ・代表作：「第三の男」（1949年）、「夏の嵐」（1954年）、本作
- ・ヴェネツィア国際映画祭栄誉金獅子賞受賞（1997年）

●受賞

カンヌ国際映画祭：第14回パルム・ドール受賞

キネマ旬報：1964年外国映画ベスト・ワン



■見どころ

- 衝撃のラスト・シーン：男は果たして夫だったのか？
判断は観客に任せるようにしているが・・・
- 映画史に残る名シーンといわれるダンスシーン
- テレーズと浮浪者の対照的な目力

バベットの晩餐会

観賞日 2022 年 4 月 25 日 上映時間 102 分

【参加者：39 名】

【概要】

制作 1987 年 デンマーク
原作 イサク・ディーネセン
監督 ガブリエル・アクセル
音楽 ペア・ノアゴー
出演 ステファーン・オードラン（バベット）
ビルギッテ・フェダースピール（マーチーネ）
ボディル・キュア（フィリパ）



【あらすじ】

1885 年、デンマークの片田舎。マーチーネとフィリパの老姉妹は牧師の娘。若い頃の姉妹は評判の美人で姉妹を目当てに教会に通う者もいたほどだ。姉のマーチーネにはデンマーク将校のローレンス、妹のフィリパにはフランス人歌手のパパンという恋人がいたが、いずれも男たちは失恋の憂き目にあった。姉妹の家にはバベットという家政婦がいた。バベットはパリ・コンミュンで家族を殺されパパンの手紙を携えてパリから逃げてきた。姉妹は亡き父の生誕 100 年を祝う催しを計画、同じ頃バベットは宝くじで 1 万フランの大金を得る。バベットはこの 1 万フランを使って当日、晩餐会を開くことを姉妹に提案する。続々と届く食材をみて本格的なフランス料理など食べたことのない姉妹は困惑する。姉妹と村人は贅沢な料理を食べる最中会話などしないよう誓い合う。当日はフランス料理に堪能で、将軍にまで上りつめたローレンスも参加。バベットが最良の食材をふんだんに使い腕によりをかけて作った料理を食べた村人たちはその味に舌を巻く。そして、不思議なことに次第に幸福感に包まれ開放的な気持ちになっていく。それもそのはず、バベットはパリの有名レストラン「カフェ・アングレ」の若き天才シェフであったのだ。人々に至福の時をもたらす料理の力。デンマークに初のアカデミー賞をもたらした心洗われる名作。

【解説】

■ポイント

- 原作者：イサク・ディーネセン（本名：カレン・ブリクセン）
 - ・1885 年～1962 年 20 世紀のデンマークを代表する女流作家
代表作：「アフリカの日々」（映画「愛と哀しみの果て」の原作本）
「運命譚」（本作の原作本）
 - ・2009 年までデンマークの 50 クローネ紙幣の肖像
 - ・英語で小説を書くときはイサク・ディーネセンの名を使った
- アカデミー国際長編映画賞（アカデミー外国語映画賞）受賞
 - ・アメリカ以外の国の映画で外国語の映画を対象にした賞。1947 年に特別賞として開設された。
 - ・デンマーク映画は 3 作品が受賞
本作（1987 年）、ペレ（1988 年）、未来を生きる君たちへ（2010 年）



■見どころ

- 料理のもつ力
食べることは生命を維持するだけではない一つの文化
- 豪華と清貧
花の都パリとデンマークの寒村、フランス料理と田舎料理、カトリックとプロテスタント
- 生きる幸せを料理の面からアプローチ

道

観賞日 2022年5月9日 上映時間 104分

【参加者：39名】

【概要】

制作 1954年 イタリア
監督 フェデリコ・フェリーニ
脚本 フェデリコ・フェリーニ、トゥリオ・ピレリ、エンニオ・フライアーノ
撮影 オテロ・マルテッリ
出演 アンソニー・クイン（ザンパノ）
ジュリエッタ・マシーナ（ジェルソミーナ）
リチャード・ベイスハート（綱渡り芸人・マット、キジルシ）



【あらすじ】

旅回りの大道芸人ザンパノは助手のローザに死なれローザの姉のジェルソミーナを代役として雇う。ザンパノの芸は胸に巻いた鋼鉄の鎖を胸筋の力で弾き飛ばすという一発芸。ジェルソミーナは少し頭が弱い気立ての良い娘。ザンパノはジェルソミーナに道化師役など助手としての芸を叩き込む。大男のザンパノと小柄なジェルソミーナの旅回りが始まる。ザンパノは粗野で女好きなどしようもない男。やがて、ジェルソミーナはザンパノに愛想をつかし彼のもとを去る。しかし、すぐにザンパノに捕まり二人はサーカスに入る。サーカスにはマットという綱渡り芸人がおり、ザンパノとマットは昔から犬猿の仲である。マットにからかわれたザンパノはナイフを持ってマットを追いかけてまわし警察に逮捕される。ジェルソミーナはマットに誘われるがザンパノとの同行を選ぶ。二人は道すがらマットに遭遇、ザンパノは誤ってマットを殺してしまう。それを見たジェルソミーナはショックのあまり狂気に襲われる。怖くなったザンパノはジェルソミーナを置いて逃げ去る。4～5年後、ザンパノはかつてジェルソミーナが演奏していた曲を耳にして地元の人に尋ねるが・・・。

巨匠フェデリコ・フェリーニの代表作となったロード・ムービー。ニーノ・ロータの哀調を帯びた名曲が心に響く。

【解説】

■ポイント

●監督：フェデリコ・フェリーニ（1920年～1993年）

- ・イタリア人の映画監督、脚本家。ルキノ・ヴィスコンティと並び戦後のイタリア映画を代表する映画監督。
- ・本作でアカデミー賞外国語映画賞を受賞し国際的名声を博す。その後、計4回同賞を受賞（「カピリアの夜」「8 1/2」「フェリーニのアマルコンド」「甘い生活」）でカンヌ国際映画祭パルムドール受賞
- ・音楽監督のニーノ・ロータは数多くのフェリーニ作品の音楽を担当。
- ・妻は本作にも出演したジュリエッタ・マシーナ。

●受賞

- ・第15回（1954年）ヴェネツィア国際映画賞：銀獅子賞
- ・第29回（1957年）アカデミー賞：外国語映画賞

■見どころ

●映画音楽

ニーノ・ロータ作曲の「ジェルソミーナ」は映画音楽名曲集に度々収録される名曲

●ラスト・シーン

夜の浜辺で一人泣き崩れるザンパノの悔恨の姿



幕末太陽伝

観賞日 2022年5月23日 上映時間 110分

【参加者：40名】

【概要】

制作 1957年

監督 川島雄三

脚本 田中啓一、川島雄三、今村昌平

音楽 黛敏郎

撮影 高村倉太郎

出演 フランキー堺（居残り佐平治）、左幸子（女郎おそめ）南田洋子（女郎こはる）、
芦川いづみ（女中おひさ）、石原裕次郎（高杉晋作）、小林旭（久坂玄瑞）
二谷英明（志道聞多）、金子信雄（相模屋楼主伝兵衛）、山岡久乃（伝兵衛女房お辰）



【あらすじ】

幕末（文久2年）品川宿の旅籠相模屋。佐平治は仲間と連れだって品川宿に遊びに来た。派手に飲み食いし芸者遊びをする佐平治一行。だが、彼らはカネを持ち合わせていなかった。同じ時、相模屋には高杉、久坂等長州藩の勤王の志士が同宿していた。再三の勘定請求にもうまく立ち振るまう佐平治。佐平治の魂胆は勘定を踏み倒して居残りし、品川で持病の労咳を治そうというもの。品川は海の近くで療養にはもってこいの場所。居残りした佐平治は持ち前の才覚を発揮しすっかり相模屋の人気者となり、皆から「いのさん」と呼ばれ頼りにされる。相模屋の女郎おそめとこはるの対立。おそめと金造の心中事件。おそめとこはるの修羅場に乗込み救う佐平治。同宿の長州藩士による御殿山異人館の焼討ちに協力する佐平治。佐平治はその都度受取ったお礼金も充分になったことから、ここが潮時と判断し宿を立つ。

周囲を手玉に取りたくましく時代を生きる佐平治の姿に近代日本の成長を重ね合わせる異色の時代劇。日活アクションスターが勤王の志士に扮して総出演する新生日活三周年記念作品。

【解説】

■ポイント

●川島雄三（1918年～1963年）

- 青森県生まれ。明治大学卒業後松竹大船撮影所入所。「還ってきた男」（1944年）で監督デビュー。自ら軽佻浮薄派を名乗り、風俗映画、喜劇に才能を発揮した。労咳の主人公佐平治は病気がちで夭折した川島の分身。川島の影響を受けた映画監督は多数（今村昌平、浦山桐郎、山田洋次・・・）
- 代表作：「洲崎パラダイス・赤信号」（1956年）、本作（1957年）

●フランキー堺（1929年～1996年）

- 鹿児島市生まれ。慶応義塾大学卒。ジャズ・ドラマーとしてデビュー。
- 本作で映画俳優としての地位を確立。その後、喜劇映画、テレビ・ドラマで活躍。

●評価（映画人が選ぶオールタイムベスト100）

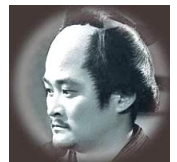
1999年：5位、2009年：4位

■見どころ

●主演のフランキー堺の名演技

寅さんシリーズの渥美清を彷彿させるフランキーの演技。名作古典落語の世界を再現

- 公開当時にブームとなっていた太陽族を幕末の長州藩士に見立てる
- 日活アクションスターの珍しいまげ姿
- 女郎おそめ（左幸子）とこはる（南田洋子）の女同士の壮絶な大喧嘩



陽のあたる場所 (A Place in the Sun)

観賞日 2022 年 6 月 13 日 上映時間 122 分

【参加者：45 名】

【概要】

制作 1951 年 アメリカ
監督 ジョージ・スティーヴンス
原作 セオドア・ドライサー『アメリカの悲劇』
脚本 マイケル・ウィルソン、ハリー・ブラウン
音楽 フランツ・ワックスマン
撮影 ウィリアム・C・メイラー
出演 モンゴメリー・クリフト (ジョージ・イーストマン)
エリザベス・テイラー (アンジェラ・ヴィッカーズ)
シェリー・ウィンタース (アリス・トリップ)



【あらすじ】

伯父を訪ねて地方からやってきた青年ジョージ。伯父の会社に就職し、職場の同僚アリスと恋仲になる。ある日、叔父一族のパーティーに招かれ美しい令嬢アンジェラと出逢い心を奪われる。アンジェラも今まで周りにいなかったタイプのジョージに魅かれる。アンジェラの眩いばかりの美しさと用意された出世の階段。「陽のあたる場所」に吸い寄せられるジョージは次第にアリスが疎ましくなる。そんな折、アリスから妊娠を告げられ結婚を迫られる。困惑するジョージに芽生える殺意の影。湖でボートに乗ったジョージとアリスに起きたアクシデント。ジョージはアリスを見捨てて逃げ去ってしまう。やがて開かれる陪審員裁判。決定的に悪い状況証拠の中で死刑を宣告されるジョージ。そんなジョージの最期の日を訪れたアンジェラが語ったことは・・・。

アメリカン・ドリームの光と影。死を目の前にしたジョージが気づいた事件の真相は・・・。

【解説】

■ポイント

●様々なジャンルの要素を持った映画

ラブ・ストーリィ：野心を持った地方出身の青年と都会の上流社会の美女との愛

正反対の世界で育った者の魅かれあう心情

サスペンス：二人の女の間で揺れ動く男の心理。男のエゴと女のエゴ。

芽生える殺意とちらつく野望。張り巡らされた伏線。

法廷劇：ハリウッドが得意とする緊迫の陪審員裁判劇

暗い結末の中でラストの台詞が一筋の光明

松本清張の短編小説にありそうな状況設定であるが欧米では神の存在が入る

●受賞 (第 24 回アカデミー賞)

9 部門にノミネートされ 6 部門で受賞

監督賞、撮影賞、脚色賞、作曲賞、衣裳デザイン賞、編集賞

■見どころ

●エリザベス・テイラー 19 歳

世界一の美女といわれたテイラーが眩いまでに輝いていた時代の作品

●ジョージに殺意と犯意はあったのか？



北京ヴァイオリン

観賞日 2022 年 6 月 27 日 上映時間 116 分

【参加者：42 名】

【概要】

制作 2003 年 中国

監督 チェン・カイコー

脚本 シュエ・シャオルー

音楽 チャオ・リン

撮影 キム・ヒョング

出演 タン・ユン（チュン）、リウ・ペイチー（リウ）、ワン・チーウェン（チアン先生）
チェン・カイコー（ユイ教授）、チェン・ホン（リリ）、チャン・チン（リン）



【あらすじ】

大都会の北京にやって来たリウとチュンの親子。チュンは 13 歳の男子で「鳶が鷹を生んだ」ヴァイオリンの天才児。本格的にヴァイオリンのレッスンを受けるため、地方からはるばるやって来た。北京での最初のコンクール。入賞はするものの 5 位の成績に終わる。息子の成功をひたすら願うリウは「実力ではチュンが 1 番だ」と語ったチアン先生に息子のレッスンを頼む。次に、コンサートで見かけた大物のユイ教授に息子を託す。ところが、肝腎のチュンが大事な母の形見のヴァイオリンを無断で売ってしまっていた。それでも、チュンの天分を見抜いたユイ教授は自分の手元にチュンを置いてレッスンを行う。やがて国際コンクールを迎え、ユイ教授門下の候補者はチュンと少女のリンに絞られる。そして教授の口からチュンの出場が告げられる。しかし、そこでチュンがとった意外な行動は……。また、リウが事前に教授に語ったチュンの出生の秘密とは……。

名作「砂の器」を思い出させる親子の熱い絆。人間の幸福を問う名作。

現代中国映画を牽引する名匠チェン・カイコーが夫人とともに自らも出演した魂の感動作。

【解説】

■ポイント

●チェン・カイコー（1952 年～）

北京生まれ。父親も映画監督。紅衛兵世代で文化大革命では父親を糾弾し、地方に下放される経験を持つ。1978 年、北京電影学院に入学。1984 年「黄色い大地」で監督デビュー。この作品の撮影監督がチャン・イーモウで、彼と共に「第 5 世代」の旗手となる。1993 年「さらば、わが愛／霸王別姫」を発表、中国映画として初めてカンヌ国際映画祭パルムドール、ゴールデングローブ賞外国語映画賞を受賞し名声を高める。



■見どころ

●感動的な親子愛

出生の秘密を隠しながら、息子の才能を信じ、無償の愛でひたすら息子の成功を祈る父親。父親の期待に応えようと頑張る息子。しかし、人生の岐路に立った息子が下した判断は。皆さんは少年のこの判断をどう評価しますか。

●当時（2000 年頃）の中国

改革開放政策が採られて約 20 年が経過した頃。当時は、古い中国（地方）と新しい中国（首都北京）が混在する時代

●チュンの周りの善意の人たち

父親のリウ、チアン先生、チュンが憧れる年上の女性リリ

「浮雲俳句会」

抄録 NO.57

代表 太田 耕蔵

4～6月の3ヶ月間は通常の対面句会に戻り、投句・選句・合評などに充実した時間を共有することができた。又、12名まで減少した会員数も新会員募集担当の役員新設など会員増強に尽力した結果、2名の新入会者を得ることができ、句会に活気がでることが期待される。作句においても、合評への会員の参加も内容のあるものに変容しつつあり、俳句に対する取り組み及び作品のレベルアップに繋がっているように感じている。

158回句会 令和4年4月24日

会員選の特選句と自評

戦場に春月重く尖りけり

とも女

ウクライナが戦場になってから、かなり月日が経ちましたが、今だに続いており、激しくなるばかりです。痛ましい戦場の傷跡が、毎日のように映像化され、痛恨の極みです。晴れた夜には、春月も見渡していることでしょう。春月は重くしっとりとしています。昨今では戦場を憂いて怒っているように思われます。一日も早く、地球上に平和が訪れることを祈ります。

夕霞遠き連山肩組みて

とも女

鴨宮駅を降りて、ぶらぶらしていたら、地元の女の人に出会うことができたので、丹沢山の見える場所を尋ねました。その人は、親切に、車で案内をしてくれました。一面に畑が続いていて、遠方に丹沢山塊が見えました。ふもとには、桜の花が、うっすらと見えます。よく晴れてる日はもっと素晴らしいと教えてくれました。霞がかかっていましたが、山々は、がっちり肩を組んでいるようでした。地元で詳しい親切な人に出会って大変幸せでした。

花見船水脈の光を引きずりて

とも女

大岡川の桜は、県内一位の人気の高いお花見スポットで有名です。3.5キロメートルのプロムナード沿いに並木が続いていて圧巻です。わたしは、以前、弘明寺や、蒔田公園で花見をしたことがあります。しかし、花見船を見たり、乗ったりしたことはありません。一目でも見たいと思い、行ってきました。その日は、晴れて日差しが強い日でした。我慢して待っていると、花見船がやってきました。水面は、太陽の光で、まぶしく、船は光を引きずって走っていました。でも、船上のお客さんは600本の桜のトンネルをくぐり抜け満足されたことでしょう。

大藤や大地を掴む根は見せず

あきえ

足利の大藤を見た時の句です。以前訪れた時は、枯れ木のような幹が1本立っているだけでしたが、ここに藤の花が一面に咲きます。是非その時期に来て下さいと。再び花の時期に訪ねると、長い花房が垂れて600畳を埋め尽くしていて圧倒されました。これだけの花をつけるための根は何処までどの様に伸びているのかその生命力は、私の想像の域を超えているようでした。

春夕焼零るる光山の端に

和 女

“夕焼”は夏の季語ですが、一字加えて、他の季節でも季語として使われています。柔らかな朱色の“春夕焼”蒼天を染め、刻々と変化する。夕日に浮かぶ遠景のシルエットも。なぜか心惹かれ、立ち尽くすことがよくあります。

159 回句会 令和4年5月29日

会員選の特選句と自評

大空を譲られはしゃぐ鯉幟

とも女

昔は、家の庭に、高い竿を立てて、何メートルもあるような真鯉や緋鯉が、空を泳いでいた記憶があります。現在では、住宅事情もあり、ベランダに小さな鯉幟を飾っているのを見かけます。しかし、最近では、川や公園に、ロープを渡して、大きな鯉幟を吊っている光景が見られます。五月の風物詩と言えるでしょう。近くの金沢自然公園も、毎年、数多くの鯉幟が泳いでいます。風の中を泳いでいると言うよりも、鯉の群れが、大きな風を起こしているように勇壮な泳ぎぶりです。下では、甲高い声を発して子供たちが元気に遊んでいました。

トンネルを出れば眼を射る山若葉

一 柷

若葉が山々を覆い人々の気持ちを明るくしてくれる良い季節になりました。私は山梨県出身なのでかつては中央線を使い帰省をしていました。高尾駅を過ぎると小仏トンネルをはじめ次々と大小のトンネルをくぐります。初夏のこの季節はトンネルを出る度に電車内からの見える明るい光景と山々の若葉が眼を射し、帰省出来る喜びと合わせ過去の思い出として脳裏に焼き付いています。なのでその状況を一句に仕立てました。

結葉の濃きも薄きも陽の遊び

二 幸

結葉は「むすびは」と読む。意味は「若葉が重なり合って結ばれたようになっているさまをいう」（新版 季寄せ（角川書店編二〇〇四年八月二十五日 二十三版））となっている。掲句の季語「結葉」は、新緑、若葉の候の頃で夏の初めの頃の季語である。その季節の晴れた日に里山、山等に行って路で立ち止まり、頭上を見るとこの景が見られる。小生はこの景色が大好きである。その景を写真に撮り、後で見ても、綺麗である。毎年、毎年この景をみるのが好きである。それを詠んだものです。

薫風や名刺を捨てて二十年

重 九

40年勤めた会社生活を終え、暫く町内会の役員を務めた後は名刺や肩書きを一切捨て、一個人として地域活動やらスポーツ・趣味にと人生を楽しんできた。はや20年にも及ぶが何ら悔いることもなく、多くの知己・友人を得て良かったなと思う。初夏の柔らかな南の風が吹き、人生を応援してくれているように感じる。

雨蛙跳んで木の葉に紛れけり

重 九

雨蛙は体長3センチ程度の小さな体の割には声が大きい。葉の上では緑色、木の幹や地上では忽ち灰褐色に皮膚が変わり、保護色の好例である。薄暗い森で出会った雨蛙の忍者ぶりに驚いた句である。この句は句会の席上、蛙(夏)、木の葉(冬)と季重ねが大激論となったが、「木の葉」を「草葉」、「葉陰」に変更すれば季重ねは解消するが、良い機会なので季重ねについて今一度勉強したいと思っている。

新緑に佇む吾も一樹の葉

和 女

新緑が目に見え鮮やかな季節です。時々大きな公園を通ることがあります。多くの大樹が枝を広げ一面緑の世界。その世界に足を踏み入れると、大きな葉陰に木洩れ日が輝いている。私自身、風にそよぐ一葉となり、緑と一体になった感覚です。そして、溢れる若葉の活力に感動。

濃く淡く煙る山々若葉雨

和 女

新緑の頃、雨が降る中、逗子・横須賀方面の高速道路を通っていた時でした。辺りはそれ程高くない山々ですが、霧が立ち込め、深山幽谷のような幻想的な景色でした。時々通っていますが、こうした経験は珍しく、とても強く心に残っています

思ひ出は胸に断捨離走り梅雨

二 祥

今年の5月はぐずついた雨の日が多い。走り梅雨というのだろう。当然おうち時間が多い。狭い書斎には年々、本、紙、写真とガラクタ等の山。机の上のスペースはA4判もはみ出る有様。そんな折、断捨離を思い付いた。「断捨離」とは本来ヨガの行法で、不要なものを「断ち」「捨て」執着から「離れる」事のようなのだ。取り掛かると、本当に難しい。例えば50年以上前のセピア色した写真を1枚1枚見ているとノスタルジックな気持ちに時忘れ。愛着もある。漱石全集も然り。それでも思いは心に、意を決して進めた。その事をストレートに詠んだだけ。正直採って貰えるとは思わなかった。

160 回句会 令和4年6月26日

会員選の特選句と自評

難問の解けたる朝の立葵

勇 平

野島運河が近在にある。その兩岸に立葵が咲き乱れ、道行く人が豊富な花色を愛でる姿をよく見かける。掲句であるが身辺に煩瑣ながら難問が生じた。その苦渋に難儀したが、解決策を見出すことが出来た翌朝。夜来の雨でさらに高く伸びた立葵に接すると、心身がリセットされ解放感に浸ることが出来た。

逞しき蟻は静かに列をなす

祥 代

ただただ働くために生まれてきた働き蟻は、ただただ黙ってもくもくと仕事をします。己の分を知り、従順に働く蟻。そんな蟻に心を寄せてみると、その中に蟻の逞しさやおおらかさを感じ、この句を詠んでみました。

鍵盤に着地乱れて蠅とまる

勇 平

幼少期には蚊、ノミ、蠅などいっぱい生息していた。なかでもいくら追っても逃げずに身にまとわり付く蠅はイヤな虫である。とはいえ、蠅どもにもいろいろありまして、ストレスを抱えたり、負けず嫌いで見栄っ張りなど性格は千差万別。掲句の蠅は笑いを取ろうと鍵盤上にすっこけながらとまる。そんな情景を詠んでみた。

口笛に老鶯いくども応へけり

真 青

老鶯は夏の鶯の事をいう。鶯は春の代表的な鳥であり夏はその声が衰えるとして老鶯などと呼ばれるが実際には春以上によく鳴き声も大きく美しい。（角川俳句大歳時記）この地域は緑に恵まれており、金沢八景と保土谷を結ぶ旧道を歩くとあちこちで鶯が出迎えてくれる。人がいない時に口笛を吹いてまねると習性上必ず返事を返してくれる。“老”がつくからなお親近感がわくような気がする。

十薬や怪しく闇に浮かびをり

重 九

十薬はドクダミの別称。漢方で解熱・解毒・消炎剤。湿った陰地に群生し、全体に特有の臭気がある。隣家敷地の西側に手入れをしない十薬の群生があり、夜になると闇の中に白い花（苞）が浮き上がり何ともいえない怪しい雰囲気を作り出している。我が庭にも十薬がはびこり、少し油断するとその強い増殖力に悩まされる始末、余り好きになれない野草である。

パソコンを使いこなす会 実施報告【9】

2022 年 4 月～6 月

2022 年度 第 1 回分科会

- 日時：4 月 12 日（火）9：30～12：00
- 場所：八景コミュニティハウス
- 内容：WORD 講座 ー書式設定ー
 1. フォント・文字サイズを変更する
 2. 文字に効果を付ける
 3. 文字飾りを付ける
 4. 文字の色を変更する
 5. 文字揃えを変更する
 6. 行間隔を変更する
 7. インデントを設定する
 8. 箇条書きを設定する
 9. 段落番号を設定する
 10. フォントグループ設定
- 参加者：18 名＋Z1 名
- テキスト：パソコンを使いこなす会_2022 年 4 月 12 日_テキスト



この QR コードをスマホのアプリで読み込むと、テキストを見ることが出来ます。

2022 年度 第 2 回分科会

- 日時：4 月 19 日（火）9：30～12：00
- 場所：八景コミュニティハウス
- 内容：Windows 講座 -OneDrive -
 - A) 操作手順
 1. OneDrive を開く
 2. ファイルの OneDrive へのアップロード
 3. 共有ファイルの URL を送る
 - B) 演習
 1. 共有 File の確認_1
 2. 共有 File の編集
 3. 共有 File の確認_2
 4. 共有 File の編集・保存



この QR コードをスマホのアプリで読み込むと、テキストを見ることが出来ます。

- 参加者：16名
 - テキスト：パソコンを使いこなす会_2022年4月19日_テキスト
-

2022年度 第3回分科会

- 日時：5月10日（火）9：30～12：00
- 場所：八景コミュニティハウス
- 内容：WORD 講座 -Word を使いこなす 第2回-
- 1. 下線・傍点
 2. 下付き・上付き
 3. 文字種の変更
 4. フォントサイズの拡大と縮小
 5. ふりがな
 6. 文字の網掛け
 7. 囲み線
 8. ○や□で文字の入力
 9. 文字の効果と体裁



この QR コードをスマホのアプリで読み込むと、テキストを見ることが出来ます。

- 参加者：16名＋Z2名
 - テキスト：パソコンを使いこなす会_2022年5月10日_テキスト
-

2022年度 第4回分科会

- 日時：5月17日（火）9：30～12：00
- 場所：八景コミュニティハウス
- 内容：スマホ講座 -花の名前 Picture This -
- 1. Picture This のインストール
 2. 初期設定の方法
 3. 植物の識別方法
 4. 植物情報の保存
 5. 植物情報の共有
 6. iPhone での解約
 7. Android での解約
 8. 写真の撮影方法の注意
 9. 植物の名前を調べる



この QR コードをスマホのアプリで読み込むと、テキストを見ることが出来ます。

- 参加者：18名＋Z1名
- テキスト：パソコンを使いこなす会_2022年5月17日_テキスト

このQRコードをスマホのアプリで読み込むと、作品の動画を見ることが出来ます。



2022 年度 第 5 回分科会

- 日時：6 月 14 日（火）9：30～12：00
- 場所：八景コミュニティハウス
- 内容：WORD 講座 ―ストック画像―
 1. 罫線
 2. ドロップキャップの挿入
 3. 文字の効果と体裁
 4. スtock画像の挿入
 5. 画像編集
 6. ページの色
 7. ページの背景を印刷する
- 参加者：15 名＋Z2 名
- テキスト：パソコンを使いこなす会_2022 年 6 月 14 日_テキスト



この QR コードをスマホのアプリで読み込むと、テキストを見ることが出来ます。

2022 年度 第 6 回分科会

- 日時：6 月 21 日（火）9：30～12：00
- 場所：八景コミュニティハウス
- 内容：スマホ講座 ―音声入カー―
 1. スマホで Zoom 会議
 2. LINE で「1 人グループ」
 3. 音声入力の設定
 4. 音声入力に対応の記号等と入力方法
 5. LINE で音声入力
 6. メールで音声入力
 7. ネット検索で音声入力

8. Zoom ミーティングで iPhone 画面を共有する方法

- 参加者：16 名
- ・テキスト：パソコンを使いこなす会_2022年6月21日
_テキスト

この QR コードをスマホのアプリで読み
込むと、テキストを見ることが出来ます。



MEMO



2022年9月～2022年11月の予定

注：表中の「CC」は、「地区センター」の略

	9月	10月	11月
学習会	9月10日(土) 市大304教室 9:30～12:00 【武州金沢藩米倉家と幕末維新】 横浜市歴史博物館主任学芸員 小林紀子氏	10月14日(金) 鎌倉 9:30～12:30 【北条義時と13人の宿老】 探訪実行委員会・NPO法人鎌倉ガイド協会 10月30日(日) 市大カメリアホール 9:30～12:00【下剋上と斎藤道三】 東洋大学文学部准教授 木下聡氏	11月27日(日) 市大カメリアホール 9:20～11:40 【北条氏の滅亡と徳川氏の江戸入府】 青山学院大学文学部史学科准教授 谷口雄太氏
寺社を巡る会	① 9月1日(木) 10:00 集合場所：バス停光明寺、 テーマ：文覚上人・三浦義明を偲ぶ 訪問先：光明寺、補陀洛寺、実相寺等 ② 9月9日(金) 13:00、金沢公会堂 20周年記念講演「鎌倉草創、修羅の大 河を行く」鎌倉ガイド協会、 16:00 懇親会 龍華寺・地藏堂	10月6日(木) 10:00 集合場所：バス停大道中学校前 テーマ：鎌倉武士たちも歩いた塩の道 訪問先：鼻欠地藏前、朝夷奈切通入口、 大切通、上総介屋敷跡、太刀 洗の水、光触寺	11月3日(木) 10:00 集合場所：湘南モノレール大船駅 テーマ：悲運の御家人・梶原景時 訪問先：湘南深沢駅、泣塔、大慶 寺、等覚寺、梶原御霊神 社、仏行寺
古文書を読む会	9月8日(木) 10時～12時 場所：金沢公会堂第二会議室 テーマ：参勤交代(松平春嶽)⑫ 9月22日(木) 10時～12時 場所：金沢公会堂第二会議室 テーマ：吉宗と尾張藩宗春の角逐⑥	10月13日(木) 10時～12時 場所：未定 テーマ：参勤交代(松平春嶽)⑬ 10月27日(木) 10時～12時 場所：未定 テーマ：吉宗と尾張藩宗春の角逐⑦	11月10日(木) 10時～12時 場所：未定 テーマ：参勤交代(松平春嶽)⑭ 11月24日(木) 10時～12時 場所：未定 テーマ：吉宗と尾張藩宗春の角逐⑧
ふれあいの道歩こう会	9月15日(木) 予備日 16日(金) 神奈川県コース15番 弘法大師と丹沢のみち 神奈川県秦野市	10月20日(木) 予備日 21日(金) 御岳山(329m)～ロックガーデン 東京都奥多摩町 あさる野市	11月17日(木) 予備日 18日(金) 竹の寺から子の権現 埼玉県飯能市
懐かしの映画を観る会	9月12日(月) 金沢CC 12:15～OK牧場の決闘 9月19日(月) 金沢CC 12:15～明日の記憶	10月10日(月) 金沢CC 12:15～俺たちに明日はない 10月24日(月) 金沢CC 12:15～波止場	11月14日(月) 金沢CC 12:15～三人の妻への手紙 11月28日(月) 金沢CC 12:15～切腹
浮雲俳句会	9月25日(日) 10:00～ 第163回句会 会場：晴嵐かなざわ 課題：当季雑詠3句、兼題1句	10月23日(日) 10:00～ 第164回句会(吟行) 会場：ののほな館 課題：当季雑詠2句	11月20日(日) 10:00～ 第165回句会 会場：晴嵐かなざわ 課題：当季雑詠3句、兼題1句
パソコンを使いこなす会	9月13日(火) 八景コミハ Internet講座 一国土地理院地図- 9月20日(火) 八景コミハ EXCEL講座 -Excelの基礎①- 9:30～12:00	10月11日(火) 八景コミハ スマホ講座 -翻訳アプリPapago!- 10月18日(火) 八景コミハ EXCEL講座 -Excelの基礎②- 9:30～12:00	11月8日(火) 八景コミハ Windows講座 -パソコンのスペック- 11月15日(火) 八景コミハ EXCEL講座 -Excelの基礎③- 9:30～12:00

連絡先

- ・学習会 080-6755-1473(江口) ・古文書を読む会 784-4900(真田) ・浮雲俳句会 783-0278(太田)
- ・ふれあいの道歩こう会 790-0128(柴崎) ・懐かしの映画を観る会 080-5172-6151(鶴岡)
- ・寺社を巡る会 090-1840-0916(横山) ・パソコンを使いこなす会 090-2539-8202(相川)

編集後記 先日、新聞の映画評欄で「PLAN75」を読んだ。75歳以上の高齢者に生死の選択権を与えるといった衝撃的な内容であった。「現代社会は、生産性で命の価値を測り、弱者に厳しく当たる風潮がはびこっている。この現実疑問を投げかけ、人が生きる意味を静かに問いかける。」との評があった。もちろん架空の近未来の日本を描いているが、でもあり得るかもしれないと思うと、自分には無縁な問題ではないと深く考えさせられた。私もあと半年余りでその年齢を迎える。 (山腰策次郎・記)	発行日	2022年8月19日
	発行月	年4回発行(2、5、8、11月)
	発行者	金沢区生涯学習“わ”の会
	編集長	鶴岡 重典
	編集委員	兒玉 國宏 鈴田 祥代 佐藤 和弘 松崎 寛 熊谷 信雄 橘 博章 斧原 良一 山腰 策次郎